



園教員の自己評価に対し、園関係者評価をしていただきましたので報告いたします。

令和4年度 本園教育の重点努力事項（園関係者評価）		評価 4できた 3大体できた 2あまりできなかった 1できなかった		講評	
	重点努力事項	具体的実践例	評価	講評	
学びの基礎づくり	1	幼児期にふさわしい遊びを通じた環境づくりの工夫	3.4	<p>○3歳児は、初めての集団生活であり、不安が多いと思うが、教職員と在園児が温かく迎えてくれたのがよかったと思う。</p> <p>○園全体で、子供を見守り、子供が楽しむことを一番に、大人には子供の成長をしっかりと感じられるように工夫されていると思う。子供の考えも取り入れながら園での活動や発表があり、認められることの喜びが感じられていると思う。</p> <p>○子供たちが楽しめる遊びや心に届く言葉を選ばれていて、いろいろな工夫をされていると思う。</p> <p>○幼児期にたくさん体験を通して、子供たちの気付きを引き続き引き出してほしい。</p> <p>○細かい計画と指導を実践される中、評価に至る研究保育まで資質向上されている。</p>	
	2	幼児の主体的な活動を引き出す環境の工夫			「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の職員間の共有と体制づくり
	3				考えや感じたことなどの自分の思いを自分なりの言葉で表現する力の育成
	4	教職員の資質・指導力の向上を図る園内研修の充実及び園内研修推進事業の活用			研究テーマの具現化を図るための「園内研修推進事業」の活用
	5	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進			適切な指導や必要な援助ができるための専門性の向上及び教育的ニーズに応じた合理的配慮
豊かな心の育成	6	人権感覚の基礎となる自尊感情の育成	3.7	<p>○先生方が、個々に合わせた粘り強い姿勢や指導が園児の自尊感情を支えて、効果が出ている。</p> <p>○トラブルがあった時も、どちらか一方が悪いと決めつけず、きちんと両方の気持ちを受け止め、どうすればよいか考える力等をはぐくんでくれている。</p> <p>○「ありがとう、ごめんなさい」を言えない子供への対処法を場面に応じて繰り返すことが大事である。</p> <p>○季節を感じられる園外活動も、安全に配慮があってよいと思う。</p> <p>○敬老の集いが3年ぶりに開催されたことは嬉しい。核家族化が進む中、高齢者と接することで、年長者を敬う気持ちを養ってほしいと願う。</p> <p>○子供の自主性を尊重し、読み聞かせでは、保護者の方々の協力もあり、絵本好きな子供たちが多いように感じる。</p> <p>○保護者の読み聞かせに男性が参加しているのは、評価したい。</p> <p>○週に1回の絵本の貸し出しも知識に触れるよい機会だと思う。絵本の部屋がもう少し明るい雰囲気になるとよいと感じた。</p>	
	7				友達よさに気付き、認め合う体験の工夫と援助きまりの必要性等に気付き、自分の気持ちを調整する力の育成
	8	主体的な活動と教師の援助の充実			自分の力でやろうとしたり、最後までやり遂げようとする態度の育成
	9				園内及び園外活動を通して自然の中で遊び、季節や命の大切さを感じさせる工夫
	10				絵本や紙芝居等毎日の読み聞かせや興味を高める絵本コーナー等の工夫
	11	同和問題をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識を深め、実践的指導力を高める研修の充実（人権同和教育の推進）			研修への参加体制づくりと研修内容の全職員への復講
健やかな体の育成	12	充実感をもって、心と体の諸機能を十分に働かせることのできる環境の工夫	3.7	<p>○園庭や遊戯室で、のびのびと遊んでいる子供たちの姿は、見ている方も元気をもらえる。</p> <p>○4歳児から社会性も急に発達していくので、自然とのふれあいや植物栽培を通して豊かな心身の育ちがはぐくまれている。</p> <p>○野菜の収穫等は家庭ではなかなか体験できないので、園でできるのがとてもよい。</p> <p>○大根栽培や園庭の柿を干し柿にするなどの体験を通して、食に親しみや関心をもつように取り組まれている。</p> <p>○安全に気を付けた遊びや生活の実践がアンケート結果で低評価だが、周囲の大人が根気よく声掛けをする必要がある。</p> <p>○コロナのクラスターもなく、毎年流行る病気も少なくなったので、感染対策がしっかりされており、安心できる。</p> <p>○時事問題に関連付いた避難訓練があり、子供たちにも身近なものにしてあるところがよいと感じる。</p>	
	13	食育を通じた望ましい食習慣の形成			栽培、収穫、試食を通して食べ物や作る人に感謝の気持ちをもつ望ましい食習慣の定着 食物アレルギー対応の徹底
	14	生活の中で安全な行動ができるような環境の配慮及び指導の工夫			場面に応じた声掛けや意識付けの工夫 感染症対策の徹底
	15	防災教育の充実と安全衛生管理の徹底			「危機管理マニュアル」「園安全計画」の見直しと改善
にちあるむと幼稚園として・地域の推し進め	16	小学校以降の教育円滑な接続を図るための幼・保等、小、中連携カリキュラムの活用と交流の工夫	3.3	<p>○小学校との交流が、今後さらにスムーズに行われることを願いたい。</p> <p>○子供同士の対面での園外交流再開はまだ難しいようだが、非対面での実現を検討してもよいのではないかと。</p> <p>○異年齢交流は、大人が考えるより濃い経験になり、成長の効果をもたらす。ただ、オンライン交流は、マスクで顔の表情が読み取れず、課題も大きい。</p> <p>○近隣で、不審者等目撃される事案があり、付近住民として、引き続き見守っていく必要がある。</p>	
	17	熊本版CSの充実による園と地域の連携・協働及び（国版）CSへの移行推進			令和5年度国版CS移行への取組や準備
	18	不祥事の根絶と危機管理体制の確立			「不祥事根絶を考える日」の取組の充実及び徴収金管理マニュアルの徹底
	19	家庭教育や子育てに関する学習会や情報提供、相談体制の充実			家庭教育学習会、6園合同研修会参加への啓発
基盤	1		3.6	<p>○あいさつが大切だと教えていただけたおかげで、外でも物怖じせず、あいさつをすることができるようになった。近所の人にもあいさつができるので、顔を覚えてもらえ、小学校への通学の時も、少しではあるが安心材料になっている。</p> <p>○あいさつは始めと終わりが肝心と言われる。言葉は、永遠のワード。まず、親や先生の手本を繰り返す。できたら当たり前ではなくしっかり認め、ほめることだと思う。</p> <p>○成長していく上で必要なことであるため、今後も園児になぜ大切であるかを伝えるとよいと思う。</p> <p>○園できている分を、家庭でも実践できるようになれたらと思う。</p> <p>○脱いだ後の靴まで気を配るのは、園児にはなかなか難しいかもしれないが、できたときは劣い言葉をたくさんかけてあげてほしい。</p>	
	2	「やつしろスピリッツ」の共通理解と共通実践			話す人の顔を見てしっかり話を聴く
	3				靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる